

みえ県議会だより

NO.137

平成26年(2014年)

10月1日



赤目四十八滝(名張市)

委員会の動き (P1~P3)

三重県議会では、現在、7つの常任委員会と1つの特別委員会を設置しています。

今回は、各委員会の県内調査の状況や県政運営等に関する知事への申し入れを中心にご紹介します。

みえ高校生 県議会 (P4)

初めて開催した、「みえ高校生県議会」をご紹介します。

総務地域連携常任委員会

行財政の運営や地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日】 8月6日～7日

老朽化や競技規則の変更により第1種公認陸上競技場としての施設基準を満たしていない箇所がある県営総合競技場において、平成33年の国体開催を見据えた整備計画の状況を調査しました。

続いて、伊勢市倉田山公園野球場において、伊勢市におけるスポーツ施設を活用した地域振興の取り組みやリニューアルされた球場の調査を行いました。

また、熊野市議会および山崎運動公園において、自主運行バスの現状と課題、高速道路開通や熊野古道世界遺産登録10周年を契機とした取り組み、熊野ソフトラボールキャンプをはじめとしたスポーツ集客に関する取り組みについて調査しました。

最後に夢古道おわせを訪問し、設立の経緯から尾鷲の地域資源を活用して進めてきた数々の取り組みについて調査を行いました。



県営総合競技場での調査

戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整や雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流および観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日】 7月24日～25日

中小企業・小規模企業振興の観点から、三重県産業支援センターで経営相談や三重県版経営向上計画の作成支援状況などを、(有)すぎもと農園では販路拡大等における企業側の課題を、みえ熊野古道商工会では工夫した事業による地元小規模企業の支援状況を調査しました。

また、雇用対策の観点から、(株)百五銀行を訪問し、職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進活動を調査しました。



みえ熊野古道商工会での調査

さらに、観光産業の振興に関し、熊野古道世界遺産登録10周年にあたる今年の春にグランドオープンした鬼ヶ城センターで、誘客の実態を調査しました。加えて、広聴広報の検証と充実に関して、全国広報コンクールで最高賞を受賞した紀宝町を訪ね、広報活動を調査しました。

環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策や農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日】 7月24、25日

もうかる農林水産業の観点から、尾鷲物産(株)や(株)金山パイロットファーム、農業法人(有)せいわの里で取り組んでいるそれぞれの6次産業化の取り組み状況などについて調査するとともに、野地木材工業(株)においては、木材等の高付加価値化に向けた取り組みの現状や課題などについて調査を行いました。

また、未利用間伐材の有効活用など木質バイオマス発電に取り組む三重エネウッド(株)においては、発電施設の整備状況などについて調査するとともに、(株)ディーグリーンにおいては、新たな魚食普及の取り組み状況や課題などについて調査を行いました。

その他、海水魚の育成技術等に係る支援研究のほか、マハタやアワビなどの種苗生産の現状についても調査を行いました。



三重エネウッド(株)での調査

健康福祉病院常任委員会

保健衛生行政の推進、社会福祉および社会保障の推進、地域医療対策、子どもおよび青少年の育成や病院事業の運営などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日】 7月23、24日

県立看護大学において、看護職員育成における現状と課題について調査するとともに、児童発達支援センター通園めだかにおいて、職員や保護者の方との意見交換を行ったほか、熊野病院認知症疾患医療センターの取り組みについて調査しました。



尾鷲総合病院での調査

また、地域医療体制整備の観点から、尾鷲市立尾鷲総合病院において、へき地における医療体制の現状と課題について調査するとともに、特定非営利活動法人あいあいにおいて、地域に密着した高齢者介護サービスや県内初の社会的事業所の取り組み、県立志摩病院において、指定管理者制度導入後の現状と課題について調査を行いました。

防災県土整備企業常任委員会

危機管理および防災対策の推進、公共土木施設の整備促進、都市計画・住宅・下水道その他都市行政の推進や公営企業(病院事業を除く。)の運営などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日】 7月23日、8月6日

防災・減災対策の観点から、みえ防災・減災センターにおいて、防災人材の育成や行政との協力体制、センターの今後の取り組みなどについて意見交換を行ったほか、伊勢赤十字病院や尾鷲市の防災センターでは、発災時における対策や地域との連携などについて調査しました。

また、建設業の活性化について、三重県建設業協会尾鷲支部において、平成16年に起きた災害の当時の状況や建設業が抱える課題などを調査しました。

その他、国道1号北勢バイパスや長島地区海岸では、現在の整備状況や、整備完成後に地域に与える効果などについて調査しました。



みえ防災・減災センターでの調査

教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育および文化財保護行政の推進や警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

【県内調査の状況】

【実施日】 7月8日、23日

津市の藤水小学校にて、批判的思考力やコミュニケーション力を段階的に育てる教育手法である「フィンランドメソッド」を活用した授業を見学し、その後に関心する意見交換を行いました。

次に、南伊勢高校南勢校舎において、地域の課題をビジネスプロジェクトとする「地域ビジネス創出プロジェクト」の取り組みを調査し、プロジェクトに携わる高校生と意見交換を行いました。



南伊勢高校南勢校舎での調査

また、読書活動推進の先進事例である、菰野町図書館、お話し宅配便「すきっぷ」等と意見交換を行ったほか、子どもや高齢者を守る交通安全対策として、区域内の制限速度を時速30キロに制限する「ゾーン30」の取り組みについての意見交換を地域の方々と行い、桑名市精義地区の制限区域を調査しました。

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

障がい者雇用促進調査特別委員会

障がい者の雇用促進などについて、調査します。

【県内調査の状況】

【実施日 8月19日】

「障がい者就業・生活支援センター」は、障がい者の雇用促進や継続就労に大きな役割を担っていることから、伊賀圏域障がい者就業・生活支援センターを運営している社会福祉法人名張育成会において、センターの取り組み、関係機関や企業との役割分担や連携、現場における工夫や現在の課題について調査しました。

次に、社会福祉法人と企業の連携の調査として、就労継続支援(B型)や就労移行支援に取り組み「ふつくりあハウン」における取り組みや訓練の状況についての調査を行い、続いて、生活支援を目的として運営しているグループホームを調査しました。その後、施設外就労活動や直接雇用で連携、協力している(株)ミルボンゆめが丘工場において、障がい者雇用の取り組みの状況や社会福祉法人との連携について調査しました。



株ミルボンゆめが丘工場での調査

「平成26年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関する申し入れ

7月28日、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会から知事に対し、「平成26年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関して、次のとおり申し入れを行いました。

①少子化対策について

多様なニーズに対し、切れ目のない支援を行うとともに、市町や民間企業等との協働により、オール三重で一丸となった少子化対策に取り組まれること。



単年度で終わらず、長期的な目標・本県のあるべき姿をしっかりと持って、少子化対策に取り組まれること。

②財政運営について

極めて厳しい財政状況の中、みえ県民力ビジョンを着実に推進し、確実な成果を上げるため、必要な財源確保に努めるとともに、中長期的には県債残高の抑制に努め、持続可能で健全な県財政を確立し、県民が幸福を実感できる県政が展開されること。

紀伊半島三県議会交流会議

7月18日に、和歌山県伊都郡高野町の金剛峯寺において、三重県、和歌山県、奈良県の三県議会による、第8回紀伊半島三県議会交流会議を開催し、「世界遺産登録10周年を契機とした誘客対策」について意見交換を行いました。

会議では、紀伊半島全域への外国人観光客の誘客につなげるため、引き続き三県議会と三県当局が車の両輪となって、広域観光の推進に向けた協力・連携

を深めていくことを確認しました。

また、国に対して、紀伊半島におけるアンカールートの整備促進、紀伊半島への外国人旅行者の誘客に資するリニア中央新幹線の東京〜大阪間全線同時着工を整備計画に基づき実現することについて要望していくことを合意しました。



平成26年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。10月から12月までの日程は次のとおりです。

- 10月 1日 予算決算常任委員会
- 2日 全員協議会
- 3日、6日、7日、8日 各常任委員会及び分科会
- 14日 本会議(代表質問) TV
- 15日 代表者会議、議会運営委員会
- 17日 本会議(採決、議案上程)、予算決算常任委員会
- 23日、24日 予算決算常任委員会
- 28日 予算決算常任委員会(総括質疑) TV
- 31日 予算決算常任委員会各分科会
- 11月 4日 予算決算常任委員会各分科会
- 6日 予算決算常任委員会
- 7日 代表者会議
- 14日 議会運営委員会
- 21日 本会議(採決、議案上程)
- 27日 本会議(議案質疑)
- 28日 本会議(一般質問) TV
- 12月 2日、4日 本会議(一般質問) TV
- 5日 予算決算常任委員会
- 9日、10日、11日、12日 各常任委員会及び分科会
- 17日 予算決算常任委員会
- 18日 代表者会議、議会運営委員会
- 19日 本会議(採決、閉会)

この日程は、平成26年9月4日現在の予定です。最新の情報は、ホームページまたはテレビのデータ放送でご確認ください。

TV テレビ中継 インターネット中継



常任委員長による答弁



高校生議員による質問

初開催
「みえ高校生県議会」を
開催しました。

8月20日、広聴広報活動の一環として、高校生が議会活動体験することで議会に対する関心を高めるとともに、高校生の意見を直接聴くことで議会での議論に反映していくことを目的に、「みえ高校生県議会」を初めて開催しました。

高校生が議場で質問し、県議会議員が答えるという内容のもので、質問する高校生は県内の高校などから募集し、選考の結果、8校26名の高校生が参加しました。

「みえ高校生県議会」

参加校および質問項目一覧(質問順)

学校名	質問項目
聾学校	津波対策としての高所移転について
	実態に即した障がい者の雇用促進について
四日市工業高等学校	三重県のスポーツ競技力の強化について
	地域産業における技術力の高度化・活性化について
相可高等学校	魅力ある農業経営を目指すには
	園芸福祉による新しい産業の創出
神戸高等学校	地域防災力について
	三重の観光PRについて
高田高等学校	へき地医療を支えるものとは
四日市高等学校	女性の人権 ～仕事と子育てを両立するために～
	子どもの人権 ～三重県子ども条例がめざす社会は?～
松阪商業高等学校	三重県民がもっとワクワクすることで観光産業の振興を ～コミュニケーション力のスキルアップと流行に乗った情報発信～
上野高等学校	高校教育にかかる費用について
	若者の活動場所について

参加校には、それぞれ担当議員として広聴広報会議の委員がつき、事前に高校生と打ち合わせを重ねながら当日の準備を進めていきました。

当日は、議長役を高校生議員2名が交替で行い、進行役を務めました。高校生議員からは、さまざまな分野にわたる質問や提案がなされ、時にはパネルによる資料提示も交えながらの質問も行われました。

質問項目はいずれも県政にとって大変重要な項目が取り上げられ、その内容は若者である高

校生の視点で考え、まとめられており、三重県議会にとって大変貴重なご意見でした。

今後は、議会として、いただいたご意見も取り入れながら、議会での議論をさらに充実させ、県民福祉の向上につなげていきたいと考えています。

なお、「みえ高校生県議会」は、本会議と同様に公開で行い、多くの方に傍聴へお越しいただくとともに、インターネットによる生中継の配信も行いました。

当日の録画映像は、三重県議会ホームページでも公開していきますので、ぜひご覧ください。

編集

三重県議会広聴広報会議

- 座長 奥野 英介(副議長)
- 委員 小島 智子 彦坂 公之 後藤 健一
栗野 仁博 石田 成生 中村欣一郎
大久保孝栄 今井 智広 中西 勇

問い合わせ窓口

〒514-8570 津市広明町 13
三重県議会事務局企画法務課
☎059(224)2877 ☎059(229)1931
✉gikaik@pref.mie.jp
🌐http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/



参加者のみなさんとの記念写真

次回の発行は、平成26年(2014年)12月1日です。